

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

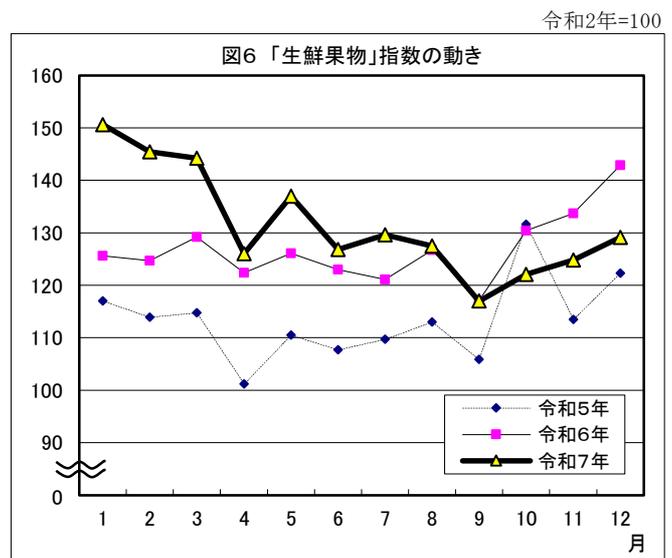
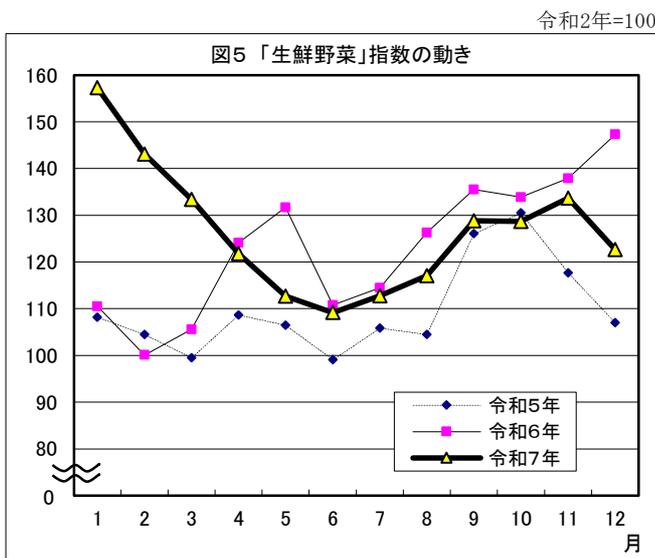
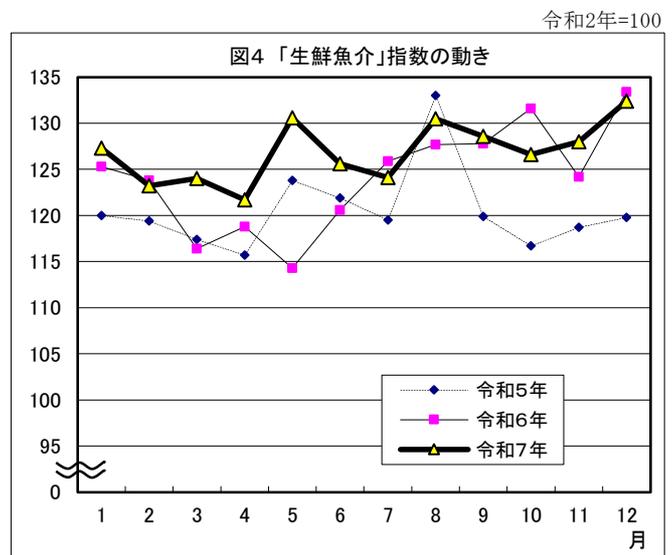
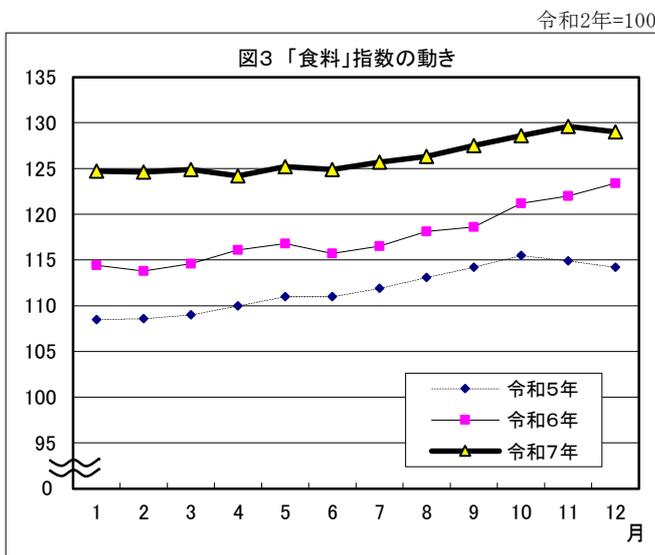
食 料

令和7年平均は126.3となり、令和6年平均に比べ(+)7.4%の上昇となった。

内訳をみると、穀類(+)24.5%、菓子類(+)11.2%、飲料(+)10.8%、乳卵類(+)7.3%、調理食品(+)7.1%、肉類(+)5.6%、果物(+)4.5%、外食(+)4.4%、油脂・調味料(+)4.4%、野菜・海藻(+)3.5%、酒類(+)3.1%、魚介類(+)2.5%とそれぞれ上昇した。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(+)2.9%、生鮮果物(+)3.8%、生鮮魚介(+)2.2%となり、生鮮食品全体では(+)2.9%の上昇となった。

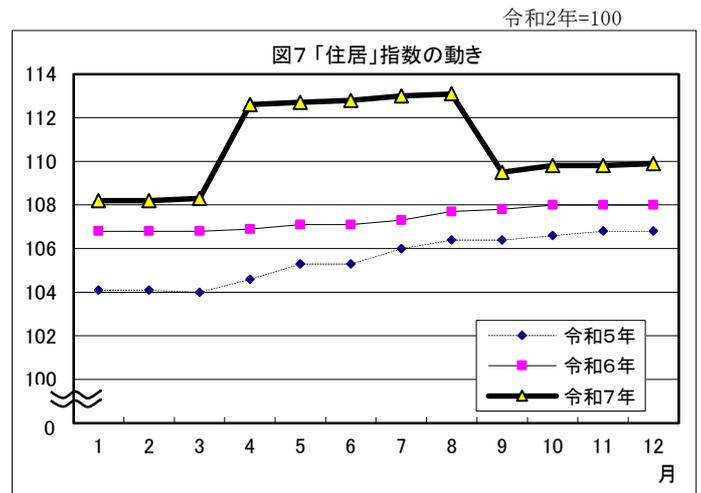
※ なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)



住 居

令和7年平均は110.7となり、令和6年平均に比べ(+) 3.1% の上昇となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+) 12.4% 、家賃は(+) 0.6% の上昇となった。

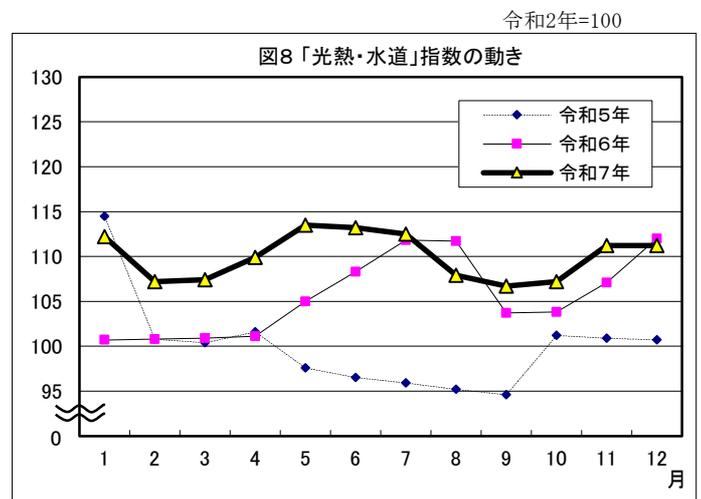


光熱・水道

令和7年平均は110.0となり、令和6年平均に比べ(+) 4.2% の上昇となった。

内訳をみると、上下水道料は変わらず。

他の光熱は(+) 7.7% 、電気代は(+) 6.8% 、ガス代は(+) 2.4% の上昇となった。

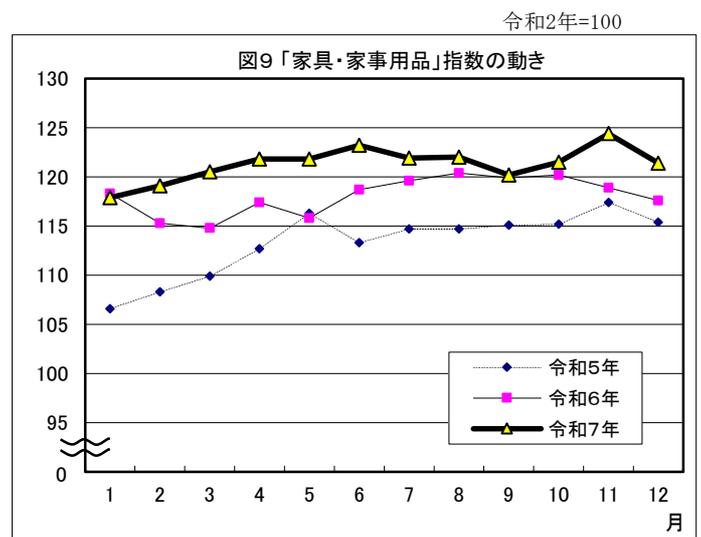


家具・家事用品

令和7年平均は121.3となり、令和6年に比べ(+) 2.7% の上昇となった。

内訳をみると、寝具類は(+) 5.6% 、室内装備品は(+) 4.3% 、家事雑貨は(+) 3.9% 、家事用消耗品は(+) 2.8% 、家庭用耐久財は(+) 1.8% の上昇となった。

一方、家事サービスは(-) 0.1% の下落となった。

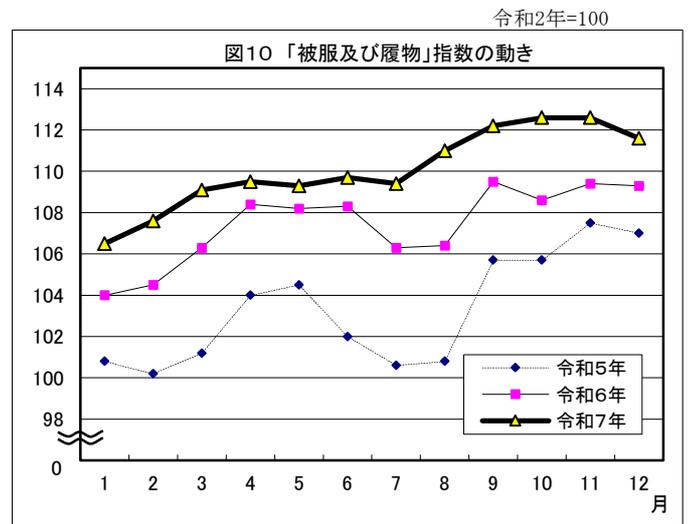


被服及び履物

令和7年平均は110.1となり、令和6年平均に比べ(+) 2.5% の上昇となった。

内訳をみると、和服は(+) 9.7% 、洋服は(+) 4.1% 、履物類は(+) 2.2% 、被服関連サービスは(+) 1.3% 、シャツ・セーター類は(+) 1.3% 、下着類は(+) 0.7% の上昇となった。

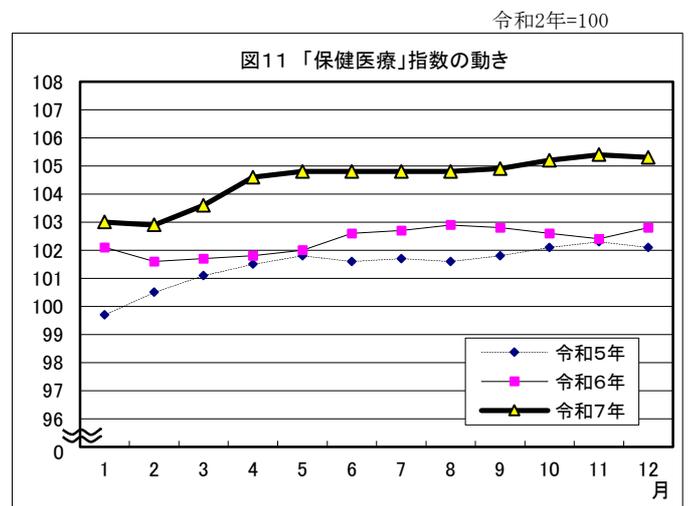
一方、他の被服は(-) 0.3% の下落となった。



保健医療

令和7年平均は104.5となり、令和6年平均に比べ(+) 2.1% の上昇となった。

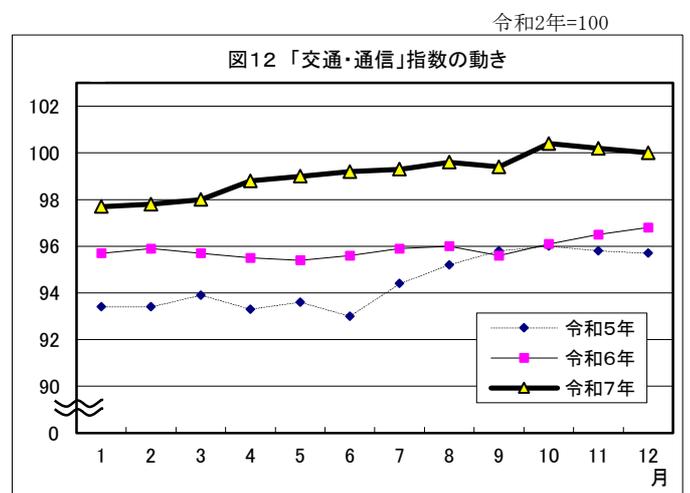
内訳をみると、保健医療サービスは(+) 2.3% 、医薬品・健康保持用摂取品は(+) 2.3% 、保健医療用品・器具は(+) 1.5% の上昇となった。



交通・通信

令和7年平均は99.1となり、令和6年平均に比べ(+) 3.4% の上昇となった。

内訳をみると、通信は(+) 4.4% 、交通は(+) 3.7% 、自動車等関係費は(+) 3.0% の上昇となった。



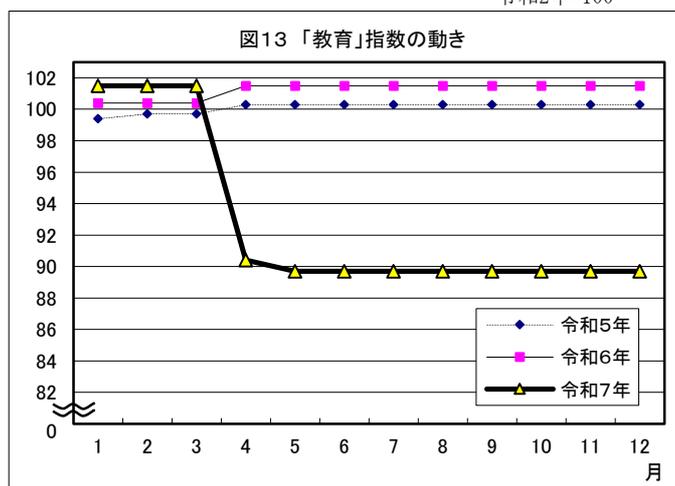
令和2年=100

教 育

令和7年平均は92.7となり、令和6年平均に比べ(-)8.4%の下落となった。

内訳をみると、授業料等は(-)13.5%の下落となった。

一方、補習教育は(+1.5%、教科書・学習参考教材は(+1.3%の上昇となった。



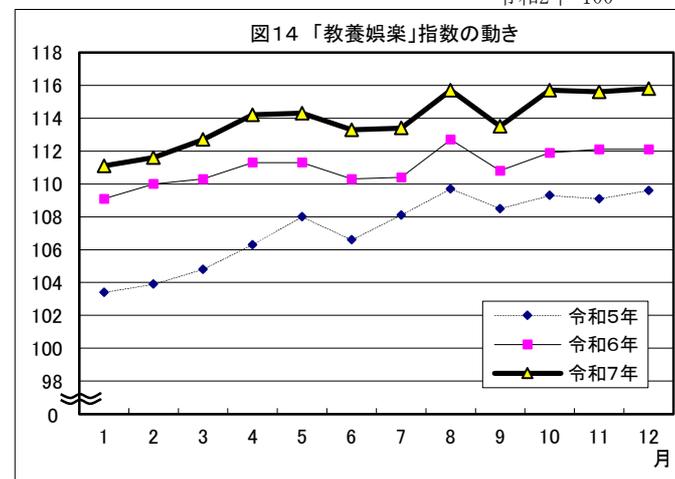
令和2年=100

教 養 娯 楽

令和7年平均は113.9となり、令和6年平均に比べ(+2.6%の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽用品は(+5.5%、書籍・他の印刷物は(+2.6%、教養娯楽サービスは(+1.9%の上昇となった。

一方、教養娯楽用耐久財は(-)1.1%の下落となった。



令和2年=100

諸 雑 費

令和7年平均は107.5となり、令和6年平均に比べ(+0.7%の上昇となった。

内訳をみると、理美容用品は(+1.1%、身の回り用品は(+0.9%、他の諸雑費は(+0.6%、たばこは(+0.5%、理美容サービスは(+0.5%の上昇となった。

